



毎月1回  
25日発行

# はしもと★ランド

第111号  
11月25日

<http://hashimoto-land.com>

はしもとランド

検索

モバイルサイト→



発行・編集・印刷 ■橋本新聞販売株式会社 企画部 丸岡・高橋  
〒370-0063 高崎市飯玉町42 TEL.027-361-4950 FAX.027-361-5009 e-mail:takahashi@hashimoto-land.com



プレゼント付!

## 身も心もほっこり 温まるオススメ日帰り温泉!!

プレゼントの応募方法は裏面をご覧ください

### 天然温泉 スカイトルメ渋川

宇宙船をイメージした斬新なデザイン。地上15Mに浮かぶ天空の大展望風呂は、赤城・武尊・谷川・榛名・浅間・妙義をはじめ、関東平野や遠くは秩父連山や南アルプスの山々までを360度のパノラマで眺望できる絶景露天風呂。弱アルカリ性等拮性高温泉で「美肌の湯」として知られている。水圧や気泡を使ってマッサージ効果を高めるバーデプールで温水浴も楽しめる。

#### DATA

●住所: 渋川市半田3129-1 ●TEL: 0279-20-1126 ●営業時間: 10時~22時  
●定休日: 第2火曜日(祝日の場合は翌日) ●料金: 平日(時間制限なし)/大人500円、小人300円、土・日・祝(3時間)/大人500円、小人300円



ペア5組様  
招待券  
プレゼント

### まんてん星の湯

谷川連峰と三国連山の雄大な景観に囲まれた民話の里、猿ヶ京温泉郷にあり、目前の赤谷湖に溶け込むような一体感を演出している。開放感あふれる露天風呂からは見渡す限りの大自然の中、昼なら雪景色、晴れた夜なら輝く満天の星空を楽しめる。無色透明な湯にはクセがなく、心身共にリラックスすることができる。館内レストランで味わえる地元の味噌を活かした「豊楽味噌うどん」が人気。

#### DATA

●住所: 利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉1150-1 ●TEL: 0278-66-1126 ●営業時間: 10時~21時(最終受付20時迄) ●定休日: 第1・3木曜日(祝日の場合は翌日)  
●料金: 3時間/大人650円、小人400円、5時間/大人850円、小人600円、1日/大人1,350円、小人800円、19時以降/大人550円、小人350円



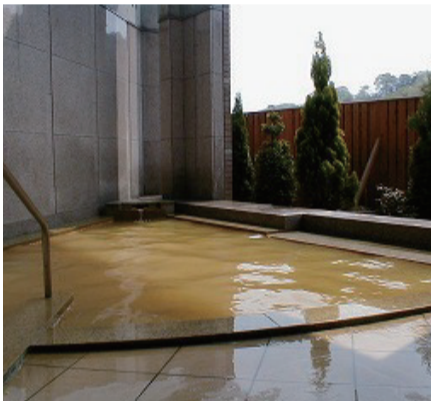
ペア20組様  
招待券  
プレゼント

### 倉渕福祉センターせせらぎの湯

体の芯まで温まる茶褐色のお湯で、内風呂、露天風呂に洋風と和風の風呂があり、男女風呂ごとの入れ替わりになっている。平日は高崎市民とその同伴者のみが利用可能、市民以外の方は土日祝日のみ利用が可能。隣接するせせらぎ公園は小さい子どもに人気のローラースライダーやアスレチックがあり、遊んだ後は、この天然温泉で汗を流せる。

#### DATA

●住所: 高崎市倉渕町岩永19-1 ●TEL: 027-378-3440 ●営業時間: 火~金10時~17時、土・日・祝日10時~20時 ●定休日: 月曜日(祝日の場合は営業)  
●料金: 高崎市民/大人310円、小人160円、65歳以上及び障害者200円、市民以外/大人700円、小人300円、65歳以上及び障害者500円



### 花咲の湯

ハイキングやスキー、スノーボードが盛んな武尊山のふもとにある日帰り温泉。イングリッシュガーデン風の露天風呂「香の湯」とロックガーデン風の露天風呂「風の湯」があり、男女日替わりとなっている。いずれの風呂からも皇海山をはじめとする雄大かつ繊細な山並の眺めが素晴らしい。レストランでは地元産品の食材を使ったメニューが好評を得ている。

#### DATA

●住所: 利根郡片品村花咲1113 ●TEL: 0278-20-7111 ●営業時間: 冬季10時~20時、夏季10時~21時 ●定休日: 第2・4水曜日(祝祭日の場合は営業)  
●料金: 5時間迄/大人600円、小人400円、5時間以上/大人800円、小人600円



### 碓井峠の森公園交流館峠の湯

五街道のひとつ、中山道の中でも難所として知られる碓氷峠のふもとに位置する峠の湯。館内は1階2階とも全面ガラス張り、裏妙義や霧積の山々の美しい自然が堪能できる。洋風の「霧積」と和風の「碓氷」にはそれぞれ露天風呂、大浴場、サウナがあり、個室家族風呂も完備。無色透明で肌にやさしい弱アルカリ性の天然温泉だ。

#### DATA

●住所: 安中市松井田町坂本1222 ●TEL: 027-380-4000 ●営業時間: 10時~21時 ●定休日/第2・4火曜日(祝日の場合は翌日) ●料金: 3時間/大人500円、小人400円、6時間/大人1,000円、小人800円



### 桜山温泉センター

小高い丘の上に位置し、広間や露天風呂からは季節ごとの景観が楽しめる。天井が高く開放的な山小屋風建物が印象的だ。お湯は無色透明の自然に近い自噴泉で、塩分を多く含むため体の芯まで温まり美肌や保湿効果が高いと評判だ。近隣には約7000本の冬桜が咲き誇る桜山公園があり、これからの季節、冬桜見物の帰りにぜひどうぞ。泡風呂、水風呂、サウナ、露天風呂がある。

#### DATA

●住所: 藤岡市浄法寺456-5 ●TEL: 0274-52-6226 ●営業時間: 10時~22時 ●定休日: 第3水曜日(休日の場合は翌平日) ●料金: 3時間大人600円、小人400円、1日大人1,200円、小人800円



名曲「丘を越えて」歌碑

詞を書いた島田芳文は福岡県出身で早稲田大学に学び、在学中は弁論部に属していた。政治家に興味があったようだが卒業後は詩人となった。農

た。不況は長引き閉塞感が漂い、将来に夢の持ちにくい時代となつてしまつた。しかしこういふ時代だからこそ「希望」を失いたくないものだ。希望を持つ限り青春は終わらない。「青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ」と(サミュエル・ウルマン「青春」から)。老いとは年を重ねることではない。「丘を越えて」は現代の我々に送られたエールの様な気がしてならない。



緑の美しい浅間牧場

民の生活を多く詠みながら、一方で当時のコロムビアレコードの専属作詞家として流行歌の作詞も手掛けた。他にも「キャンピング小歌」「スキーの歌」が藤山一郎の歌唱でヒットした。

島田芳文は北軽井沢に愛着を持ち、何度も訪れたこの地をイメージして「丘を越えて」を作詞したそうである。歌碑から遥か彼方まで高原が広がる。見ているだけで解放感に浸ることが出来る。持ちが良く心も弾む。この光景から着想を得たのだろうか。

さすがにここまで来ると浅間山は大きな山である。どっかりと腰を下ろし我々を見下ろしている。牧場の丘の上にある。歌碑は美しいロケーションで、歌の世界に入り込んだような気持ちになる。訪れたのは10月の中旬だった。秋だというのに日差しが強く汗ばむような陽気だった。何組かの親子連れも散策を楽しんでいた。

戦前に青春を謳歌した世代には懐かしい「丘を越えて」の歌碑が浅間山を望める北軽井沢(長野原町)の浅間牧場にある。この曲は古賀政男が母校明治大学のマンドリンクラブの合奏曲として作曲し、それに島田芳文が詞をつけたものである。1931年に藤山一郎が歌い大ヒットした軽快なリズムを懐かしむ人も多いだろう。

「丘を越えて」を歌詞にしたそうである。歌碑から遥か彼方まで高原が広がる。見ているだけで解放感に浸ることが出来る。持ちが良く心も弾む。この光景から着想を得たのだろうか。

上州をゆく (61) ペンネーム 国定忠治(高崎在住) 名曲「丘を越えて」誕生の地